



PTA通信

P T A 通信 N82号

発行日 令和8年2月27日(金)
 発行者 富山県立富山工業高等学校 P T A
 会長 福谷 麻美
 TEL 076-441-1971
 FAX 076-432-1250
 編集 広報委員会
<http://www.toyama-th.tym.ed.jp/>
 印刷所 いおざき印刷株式会社



ジャパンマイコンカーラリー2026全国大会

Basic Class 優勝
Camera Class 優勝
Advanced Class 準優勝



日本管楽合奏コンテスト全国大会 高等学校A部門

最優秀賞・審査員特別賞

2025(第31回)日本管楽合奏コンテスト



工業ならではの実習参観

令和7年9月24日～30日の5日間、
各実習室にて実施しました。
(355名の保護者が参加)



アンケートより

●とても真剣に取り組んでいて、家で見える表情とは全く違ってました。先生が優しく丁寧に指導して下さい、とても感謝しております。たくさん経験を積んで社会に出て欲しいです。
(2年機械工学科)

●家庭での会話だけでは分からない事を、近くで見ることができて良かった。また家で話したいと思う。毎回、苦労してレポートを書いているので、これからも頑張ってもらいたい。
(2年電子機械工学科)

●英語や数学といった中学校で学んでいた教科の授業とは異なり、一人ひとりの力量に合わせて指導されているのが分かり安心しました。子ども本人も興味深げに取り組んでいる姿があり、このまま学びが深まれば良いと思いました。
(1年金属工学科)

●班によって実習の内容が違い、考えながら相談しながら行っている所が良かったと思います。
(3年電気工学科)

●実際の様子を見学することができて良かった。自宅でどんなことをしているか説明してくれるが、実物を見ると分かりやすかった。今後機会を作っていたら良いと思います。
(1年建築工学科)

●部活動のことはよく話をするのですが、授業や実習のことになると専門的なことが多く、理解できないこともあったのですが、今日実習を見られて良かったと思いました。見たことを子どもに質問してみたいと思います。
(2年土木工学科)



1年生



2年生



3年生



令和7年度 P T A 校内研修会 12月5日(金)

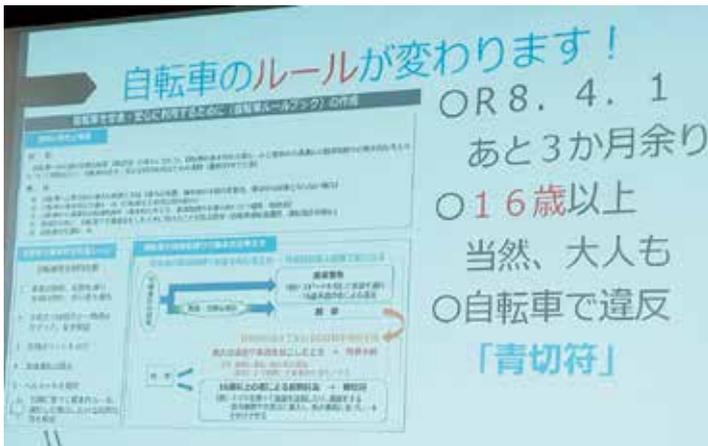
道路交通法改正に伴う注意点

P T A 副会長 下田 史人

12月5日、本校にて富山県警の方を講師にお招きし、自転車に対する罰則強化を題材に校内研修会が開催されました。令和8年4月から、16歳以上の自転車利用者を対象にスマートフォン使用やイヤホン着用などの違反行為に対して反則金が科される制度が始まります。講演では特にスマートフォンを使用しながらの運転は重大事故につながる非常に危険な行為であり、絶対に行わないよう強い注意喚起がありました。あわせて、自転車事故の発生状況や死亡事故の実態についても説明があり、特に自転車側が加害者となった場合、慰謝料として約1億円に迫る高額賠償事例が紹介され、参加者に大きな衝撃を与えました。

また、ヘルメット着用の重要性和、その着用率の低さについても触れられ、命を守る行動の大切さを改めて考えさせられました。交通事故が起こらないよう、家庭と学校が連携して見守っていく必要性を強く感じました。

後半は学年主任との懇談会が行われ、進路について就職・進学それぞれの現状をお話いただきました。選択は一つであるからこそ、子どもたちには後悔のない決断をしてほしいと願う気持ちを新たにしました。



令和8年1月6日現在

項目 学科	在籍生徒数	就職希望者	就職希望者の内訳				進学希望者	進学希望者の内訳				
			県内	県外	公務員	自営他		大	短大	高専編入学	職業訓練校等	専門学校他
機 械	77 (2)	45 (1)	42 (1)	2	1	0	32 (1)	21	1	0	5	5 (1)
電子機械	40 (7)	16 (6)	15 (6)	0	1	0	24 (1)	16 (1)	0	0	4	4
金 属	38 (4)	28 (2)	26 (2)	1	1	0	10 (2)	3	0	0	2	5 (2)
電 気	76 (2)	54 (2)	45 (2)	8	1	0	22	11	0	0	0	11
建 築	39 (19)	32 (15)	25 (10)	4 (2)	2 (2)	1 (1)	7 (4)	3 (2)	0	1	0	3 (2)
土 木	38 (3)	28 (3)	21 (3)	4	3	0	10	5	0	0	1	4
合 計	308 (37)	203 (29)	174 (24)	19 (2)	9 (2)	1 (1)	105 (8)	59 (3)	1	1	12	32 (5)
			65.9%					34.1%				

()は女子の内数

令和7年度 第3学年の進路状況

求人企業数・求人数ともに大きく増加し、本校全体の求人倍率は約13倍にも及びました。企業の採用意欲はこれまでになく高く、給与や休日数を大きく引き上げるなど活発な動きを見せております。警察や消防、市町村の技術職員など公務員の合格数が昨年の5人から9人へと伸びました。12月末には就職希望者の全てが内定を得ることができました。

4年制大学と専門学校への進学者数がやや増加し、進学者の割合は昨年に比べて5ポイントの増となりました。富山大、新潟大、富山県立大など国公立の他、難関私立大への合格を果たした生徒もいます。進学先の割合は工業系が約72%となっております。

部活動紹介

技能五輪全国大会

一人では成し得なかった技能五輪への挑戦
建築工学部 3年 岡島龍盛

今年10月、技能五輪全国大会・建築大工職種に富山県代表として出場しました。2級建築大工技能士試験で最優秀作品を提出した者が推薦される大会で、大人も参加する中、高校生として県初の出場でした。今回の挑戦は決して自分一人の力では成し得なかったと強く感じていきます。

初めての全国大会に緊張し、プレッシャーに押しつぶされそうでしたが、多くの人の支えで本番は落ち着いて臨めました。家族、技術指導をしてくださった大工さん、練習環境を整えてくださった先生、励まし合った仲間、誰一人欠けても競技会場に立つことはできなかったと思います。

課題は例年より複雑で、図面の読み解きや墨付けに苦労しましたが、試行錯誤を重ね理解を深めました。本番は12時間の競技でしたが、完成度には悔しさもありました。それでも全力を尽くし、今後の成長につながる学びを得ました。

この経験を通して、努力を支えてくれた人たちの存在のありがたさを実感しました。感謝を胸に、これからも努力を続けていきたいと思っています。



ハンドボール部

保護者会副会長 福谷麻美

正面から激しく迫るディフェンス。華麗なフエイントで切り込み、高く跳び、体を投げ出して放つシュート。その一連の攻防に、思わず息を呑む。一見すると荒々しい競技。だが、そこには「ギリギリ」を狙う冷静さと緻密な戦略が不可欠だ。

部員たちはひとたびコートに立てば、勝利だけを見据える。闘志をむき出しにし、怪我をも厭わず果敢に立ち向かう。しかし、コートを出れば、些細なことで笑い合う無邪気な高校生。時には意見をぶつけ合う。それでも最後は、お互いのプレーを素直に褒め称え合う。確かな絆が、そこにある。

「富工でハンドボールがしたくて入学しました！」

毎年聞かえてくる、この熱い思い。知っていますか？富山工業高校ハンドボール部を。体育館の熱気の中、彼らは今日も「勝利」と「成長」を追い求めている。



ボート部

2年 主将 宮田射知

私たちボート部は、自然豊かな神通峡に位置する富山県漕艇場と、夜景がきれいな富岩運河の2か所に拠点を置き、日々活動しています。

今年のチームの目標は、全国選抜大会メダル獲得、インターハイ全種目出場・入賞であり、部員全員が全力で競技に取り組みています。

ボート競技には1人乗りのシングルスカル、2人乗りのダブルスカル、4人の漕手と1人の舵手で組む、舵手付きクォドルプルがあります。2026年3月に行われる全国選抜大会にはダブルスカルで出場します。今シーズン最初のレースということもあり、相手とともに、とても気合が入っています。大会では2人で意識を統一し、スタートから飛び出しメダル獲得を目指して、頑張っています。

ボート部は部員のほとんどが高校から競技を始めています。そして、ボート部は全国大会で戦うことのできる部活です。一緒に全国大会で戦い、勝利をつかみ取りましょう！



受賞の記録

(令和7年度1月中旬までの記録)

放送部

・県高校放送コンテスト
アナウンス部門

優良賞 藤江良士丸(D3)

ラジオドキュメント部門
創作テレビドラマ部門

優良賞 優良賞

校内放送研究発表部門
テレビドキュメント部門

全国大会出場 優秀賞
全国大会出場 優秀賞

・全国高校放送コンテスト
校内放送研究発表部門

研究奨励

・高文祭放送部門
ビデオメッセージ部門

優良賞

北信越大会出場

吹奏楽部

・富山県吹奏楽コンクール
高等学校A部門

金賞

北陸大会出場

・中部日本吹奏楽コンクール
高等学校大編成の部

金賞

・北陸吹奏楽コンクール
高等学校A部門

金賞

・中部日本吹奏楽コンクール
日本管楽合奏コンテストの部

金賞

・日本管楽合奏コンテスト
高等学校A部門

最優秀賞
審査員特別賞

富山地区アンサンブルコンテスト
サクソフォン三重奏

金賞

管打楽器八重奏
クラリネット五重奏

金賞 金賞

機械工学部

・富山県高等学校ロボット競技大会

三位

入選

岡本 優衣(A3)

山本 風花(A3)

鎌倉ひなの(A3)

柳瀬 一葉(D3)

前田 俊輔(M22)

大杉 結舞(C1)

入選

・ジャパンマイコンカーラリー北信越大会
アドバンスドクラス

優勝

石田 一護(D1)

全国大会出場

二位

綿 華澄(D1)

全国大会出場

二位

柳瀬 一葉(D3)

全国大会出場

二位

物名 涼牙(D1)

全国大会出場

二位

真田 芹香(D3)

全国大会出場

二位

柳瀬 華澄(D1)

全国大会出場

二位

石田 一護(D1)

全国大会出場

二位

ベシッククラス

優勝

物名 涼牙(D1)

全国大会出場

二位

・北陸の家づくり設計コンペ
高校の部

優秀賞

瀬山 愛花(A3)

中田 琴羽(A3)

荒井 鈴羅(A2)

美紅(A2)

優良賞

土井 洸(A3)

朝倉 典磨(A3)

橋本 莉那(A3)

山本 風花(A3)

吉野 亜依(A3)

加藤 陸空(A3)

道海 爽実(A3)

藤井 大輝(A3)

加藤 陸空(A3)

日下 優里(A3)

瀬山 愛花(A3)

土井 洸(A3)

中田 琴羽(A3)

加藤 陸空(A3)

日下 優里(A3)

瀬山 愛花(A3)

土井 洸(A3)

中田 琴羽(A3)

加藤 陸空(A3)

日下 優里(A3)

瀬山 愛花(A3)

・富山県デザイン展

塩谷賞

土井 洸(A3)

朝倉 典磨(A3)

橋本 莉那(A3)

山本 風花(A3)

吉野 亜依(A3)

加藤 陸空(A3)

道海 爽実(A3)

藤井 大輝(A3)

加藤 陸空(A3)

日下 優里(A3)

瀬山 愛花(A3)

土井 洸(A3)

中田 琴羽(A3)

加藤 陸空(A3)

日下 優里(A3)

瀬山 愛花(A3)

土井 洸(A3)

中田 琴羽(A3)

加藤 陸空(A3)

日下 優里(A3)

瀬山 愛花(A3)

土井 洸(A3)

中田 琴羽(A3)

加藤 陸空(A3)

日下 優里(A3)

瀬山 愛花(A3)

・富山県総体

男子ダブルス

ベスト16

高原 俊希(C3)

北森 寛己(H3)

インターハイ出場

金津 結大(H3)

吉藤 蓮斗(C3)

インターハイ出場

原 那由多(E21)

北信越総体出場

男子ダブルス

ベスト16

北森 寛己(H3)

金津 結大(H3)

吉藤 蓮斗(C3)

インターハイ出場

原 那由多(E21)

北信越総体出場

男子ダブルス

ベスト8

三箇 祐陽(D1)

原 那由多(E21)

三箇 祐陽(D1)

原 那由多(E21)

三箇 祐陽(D1)

原 那由多(E21)

原 那由多(E21)

・富山県総体

男子ダブルス

ベスト16

北森 寛己(H3)

金津 結大(H3)

吉藤 蓮斗(C3)

インターハイ出場

原 那由多(E21)

北信越総体出場

男子ダブルス

ベスト16

北森 寛己(H3)

金津 結大(H3)

吉藤 蓮斗(C3)

インターハイ出場

原 那由多(E21)

北信越総体出場

男子ダブルス

ベスト8

三箇 祐陽(D1)

原 那由多(E21)

三箇 祐陽(D1)

原 那由多(E21)

三箇 祐陽(D1)

原 那由多(E21)

三箇 祐陽(D1)

原 那由多(E21)

原 那由多(E21)

陸上部

- ・県高校陸上競技対抗選手権大会
 - 男子八種競技 六位 城本 桧史(A2)
 - ・県高校新人陸上競技対抗選手権大会
 - 共通男子やり投 六位 城本 桧史(A2)
 - 共通男子八種競技 七位 城本 桧史(A2)

男子バレーボール部

- ・県春季大会
 - 北信越総体 三位 北信越総体出場
 - ・県高校総体
 - 北信越総体 三位 北信越総体出場

バスケットボール部

- ・県秋季大会
 - 北信越総体 三位 北信越総体出場
 - ・県新人大会
 - 北信越総体 三位 北信越総体出場

バドミントン部

- ・高等学校選手権大会県予選
 - 学校対抗の部 男子 三位 北信越総体出場
 - ・富山市民スポーツ大会
 - 三位 安村 光瑠(M11)
 - 二位 澤端 蓮(M21)

柔道部

- ・県春季大会
 - 男子個人 90kg級 三位 大瀧 翔正(E22)
 - 女子個人 48kg級 三位 瀧川 虹星(M32)
 - ・県高校総体
 - 男子個人 66kg級 五位 小西 武仁(M31)
 - 北信越総体出場
 - 男子個人 100kg級 五位 石田 岬生(D1)
 - 北信越総体出場

剣道部

- ・県春季大会
 - 男子個人 二位 亀田 陽太(E31)
 - ・県高校剣道選手権大会
 - 男子個人 三位 能登 千夏(A1)
 - 女子個人 三位 能登 千夏(A1)

山岳部

- ・県高校総体
 - 男子団体 二位 菅原圭旬朗(M31)

- 女子団体 優勝
 - 山内 史斗(A3)
 - 岡崎 蒼(A3)
 - 坂井 海輝(A3)
 - 藤根 悠奈(A3)
 - 堀田ひかり(A3)
 - 山本 風花(A3)
 - 山本 風花(A3)
 - 山本 風花(A3)

ボート部

- ・県秋季大会
 - 男子団体 三位 辺城 雄琉(C1)
 - ・クライミング新人大会
 - 個人男子 三位 雄琉(C1)

ボクシング部

- ・県秋季大会
 - 男子総合 二位 若島 琉生(A3)
 - 舵手付きクォドルプル 四位 野村 輝(H3)
 - 松浦 鶯慈(D3)
 - 高野 央丞(D2)
 - 石田 知寛(H2)
 - 野澤 海愛(C2)
 - インターハイ出場

ボクシング部

- ・北信越国民スポーツ大会
 - 少年男子舵手付きクォドルプル 二位 若島 琉生(A3)
 - 宮田 射知(M21)
 - 松浦 鶯慈(D3)
 - 野村 輝(H3)
 - 高野 央丞(D2)
 - 石田 知寛(H2)
 - 野澤 海愛(C2)
 - インターハイ出場

男子ソフトボール部

- ・北信越体育大会
 - 男子の部 三位 野澤 海愛(C2)
 - ・全国高校総体
 - 男子の部 ベスト16
 - ・中日本男子ソフトボール選手権大会
 - 高校男子 高校男子 ベスト4

男子ソフトボール部

- ・北信越新人大会
 - 男子の部 二位 野澤 海愛(C2)

ボクシング部

- ・県高校総体
 - 学校対抗の部 二位 藤岡 岳治(E31)
 - バンタム級 二位 藤岡 岳治(E31)
 - ヘビー級 優勝 樋渡 直也(H3)
 - ウェルター級 優勝 北信越総体出場
 - フライ級 優勝 北信越総体出場

- ・北信越体育大会
 - 男子Aパートヘビー級 優勝 樋渡 直也(H3)
 - 男子Aパートスーパーヘビー級 優勝 高橋 虎治(H2)
 - 富山県体 優勝 樋渡 直也(H3)
 - 一部少年ウェルター級 優勝 樋渡 直也(H3)
 - 一部少年フライ級 優勝 戸高 龍一(E22)
 - 北信越国民スポーツ大会 優勝 松本 混平(C3)
 - 少年男子フライ級 二位 松本 混平(C3)

機械工学科

- ・県新人大会
 - 選抜の部 ライトウェスター級 優勝 戸高 龍一(E22)
 - 新人の部 ミドル級 優勝 島野 楓大(H1)
 - 新人の部 ウェルター級 優勝 谷内 優太(H1)
 - 新人の部 ライトフライ級 優勝 河野 由康(H1)
 - 新人の部 バンタム級 二位 柚原 皇陽(M12)

電気工学科

- ・ものづくりコンテスト県大会
 - 最優秀賞 音 拓希(E32)
 - 優秀賞 宮崎 琉玖(E21)
 - 優良賞 北信越大会出場
 - 松田 安弘(E12)

土木工学科

- ・ものづくりコンテスト県大会
 - 最優秀賞 倉田 隼翔(C2)
 - 優秀賞 黒田 龍佑(C2)
 - 優良賞 杉田 響己(C2)
 - 蔵本 泰地(C2)

**令和7年度
北信越高等学校PTA連合会研究大会
福井大会**
PTA副会長 表美紀

7月11日(金)12日(土)の2日間、北信越高等学校PTA連合会研究大会が福井市のフェニックス・プラザエルピス大ホールで開催されました。

テーマは「輝きある未来への継承」共に生き、共に育つ」長野・新潟・富山・石川・福井の5県から多くのPTA関係者が集いました。

1日目は各県代表5校による発表が行われました。内容はそれぞれの学校の特色を生かしたもので、「保護者と教職員による球技大会」「生徒・保護者・教職員によるピーチクリン活動」「調理実習体験講座」「地域の方と協力して生徒にそばを振る舞う事業」など、多彩な取り組みが紹介されました。さらに、生徒の発案で能登復興への応援メッセージを募り、PTAが看板としてまとめた活動もあり、学校・家庭・地域を繋ぐPTAの役割を改めて感じる発表となりました。

また、PTA役員の選出が各校共通の課題であることが共有され、「PTA活動の見える化」「スリム化」の重要性を再認識する機会となりました。発表の中で「親として学校に関われるのは高校が最後」という言葉が印象的で、残りの高校生活を共に歩む姿勢の大切さを実感しました。

2日目は、福井工業大学教授で元男子日本代表監督・中垣内祐一氏による講演「強化選手の最前線」男子バレーのケース」が行われました。指導の変遷やオリンピックの裏話などを交えた講演は、日常にも通じる内容で参加者の心に響きました。最後に、次回大会が石川県で開催されることが確認され、盛会のうちに閉会しました。



**令和7年度
全国高等学校PTA連合会大会
三重大会**
PTA会長 福谷 麻美

8月21日・22日の2日間、全国高等学校PTA連合会大会、三重大会に参加いたしました。全国各地から毎年六千人を超えるPTA関係者が集まり、PTA活動の意義や役割を考える大規模な催しです。今年の大会テーマは「出会いはいま常若のくに」～「集い、想い、継ぐ」三つの重なる明日への力。人とのつながりを大切に、知恵を借り、明るく未来へ希望をつなぐ、まさにPTA活動そのものです。

【1日目】の第4分科会では、(一社)オッセカイダー代表でラジオDJのレモンさん(山本シユウ氏)が講演。夫婦喧嘩をしないユーモラスなコッや「家族のように支え合うことこそPTA活動の本質」というメッセージを、笑いを交えながら語られました。軽妙なトークの中に気づきがあり、心に残る時間となりました。

【2日目】の記念講演では、井村屋株式会社代表取締役会長CEO 中島伸子氏より、北陸トンネル火災事故を乗り越え遅く復帰された体験、アルバイトからCEOに至るまでの歩みや、女性としての苦労と逆境への向き合い方を拝聴するなかで自らを省み、日々の行動を振り返る貴重な機会となりました。

残暑厳しい中での開催でしたが、運営にあたる多くの方々や声を枯らし汗を流して支えてくださる姿に胸を打たれ、この2日間の学びと出会いを、今後のPTA活動に生かしてまいりたいと思います。



編集後記

PTA通信を最後までお読みいただき、ありがとうございます。1学期には突然の食堂閉鎖があり、戸惑うことも多くありましたが、皆さまのご理解とご協力により、2学期から再開できたことに安堵しております。この3年間で二度の食堂危機を経験し、改めて食堂のありがたさを実感しました。是非、月に一度でもご利用いただき、食堂がこの先も続いていくよう、引き続きご協力をお願いいたします。

あつという間の3年間、広報誌の制作に携わり、子どもたちの成長を間近で感じながら活動できたことは、かけがえのない経験となりました。お忙しい中ご協力いただいた先生方・保護者の皆さまに、心より感謝申し上げます。

広報委員長 堀 麻由美